仕　様　表

単位：特記なき限り（mm）

|  |  |
| --- | --- |
| 設計者 資格・氏名 | 　　　級建築士　第　　　　　　　　　号　・　 |
| 物件名称・建設地 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・ |

仕様が複数ある場合，必要最小限の仕様のもの，又は仕様の範囲を以下に記載

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 小 項 目 | 仕　様 |
| 建築材料（法37条） | 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ |  |
| 基礎鉄筋 |  |
| 居室の天井高さ，床高さ，防湿方法（令第2章第2節） | 居室の天井高さ |  |
| 床高さ |  |
| 防湿方法 |  |
| 構造部材等（令第3章第2節） | 構造部材の耐久(令37条) |  |
| 基礎(令38条) |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 地盤調査(令38条) |  |
| 屋根葺き材等(令39条) |  |
|  |
|  |
| 木構造（令第3章第3節） | 木材(令41条) |  |
| 土台及び基礎(令42条) |  |
|  |
| 柱の小径(令43条) |  |
|  |
|  |
|  |
| はり等の横架材(令44条) |  |
| 筋交い(令45条) |  |
|  |
| 構造耐力上必要な軸組(令46条) |  |
|  |
|  |
| 継手・仕口(令47条) |  |
|  |
|  |
|  |
| 防腐措置等(令49条) |  |
|  |
| 補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造（令第3章第4節の2） | 塀(令62条の8) |  |
|  |
|  |
| 防火構造(延焼のおそれのある部分) | 屋根(法22条) |  |
|  |
|  |
| 外壁(法23条) |  |
| 軒裏(令108条) |  |
| 居室の内装 | 内装材(令20条の7) |  |
| 居室の換気 | 換気設備(令20条の8) |  |
|  |
| 給排水衛生設備(令129条の2の3)(令129条の2の4) | 建築設備の構造強度(昇降機以外) |  |
| 給水･給湯管材料 |  |
| 排水管材料 |  |
| 水栓 |  |
| 県条例 | 法第40条 |  |

仕　様　表　**【 記 載 例 】**

単位：特記なき限り（mm）

|  |  |
| --- | --- |
| 設計者 資格・氏名 | 　　　級建築士　第　　　　　　　　　号　・　 |
| 物件名称・建設地 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・ |

仕様が複数ある場合，必要最小限の仕様のもの，又は仕様の範囲を以下に記載

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 小 項 目 | 仕　様 |
| 建築材料（法37条） | 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS（設計基準強度 24 N/㎟以上，ｽﾗﾝﾌﾟ 18 cm以下） |
| 基礎鉄筋 | JIS（SD 295） |
| 居室の天井高さ，床高さ，防湿方法（令第2章第2節） | 居室の天井高さ | 2,400 |
| 床高さ | 640（直下の地面（BM+400）から） |
| 防湿方法 | ねこ土台（有効換気面積75㎠/ｍ） |
| 構造部材等（令第3章第2節） | 構造部材の耐久(令37条) | 構造耐力上主要な部分腐食，腐朽，摩損のおそれのあるものに腐食等防止の措置 |
| 基礎(令38条) | 支持地盤の種別及び位置：砂質地盤（GL-0.5ｍ） |
| 基礎の種類：鉄筋コンクリート造べた基礎 |
| 基礎の底部の位置：地盤面からの深さ（GL-100），根入れ（GL-300） |
| 基礎の底部に作用する荷重の数値･算出方法：地盤の許容応力度30kN/㎡ |
| 鉄筋：主筋（D13），立上り･底盤･開口補強筋（D10），主筋と補強筋は緊結 |
| 地盤調査(令38条) | ＳＷＳ試験，地盤改良なし |
| 屋根葺き材等(令39条) | 固定方法：平部（全数固定），棟部（ねじ固定），軒･けらば（ねじ3本固定） |
| 屋外に面する部分のタイル等の緊結方法：該当なし |
| 太陽光システム等を設置した際の防錆処理：該当なし |
| 木構造（令第3章第3節） | 木材(令41条) | 木材の規格（JAS）又は等級：無等級材（耐力上の欠点のないこと） |
| 土台及び基礎(令42条) | 柱脚の固定方法：土台120×120（ひのき，無等級材）を設ける |
| 土台の固定方法：ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ（M12）＋座金（厚4.5×40角×14φ）により緊結，柱から200以内に設置（設置間隔は2700以内），金物はZﾏｰｸ表示金物又は同等認定品 |
| 柱の小径(令43条) | 横架材間距離：１階　小径120，横架材相互間の垂直距離の最大：2844　　　　　　　　　　柱の小径と横架材間内法寸法の比率：1/23.7２階　小径120，横架材相互間の垂直距離の最大：2730　　　　　　　　　　柱の小径と横架材間内法寸法の比率：1/22.8 |
| 柱断面の欠き取り（1/3以上）がある場合は，適切に補強 |
| ２階建ての隅柱：通し柱，又は同等の補強（N値計算による） |
| 有効細長比（最大値）：１階　座屈長さ：2844，断面最小二次率半径：34.64　　　　　　　　　　　　　 柱の有効細長比＝82.1≦150　　　　　　　　　　 ２階　座屈長さ：2730，断面最小二次率半径：34.64　　　　　　　　　　　　　 柱の有効細長比＝78.9≦150 |
| はり等の横架材(令44条) | はり中央部付近の下側に耐力上支障のある欠き込みは無し |
| 筋交い(令45条) | 筋交いの断面：45×90 |
| 原則，欠き込み無し（欠き込みが必要な場合は，両面から短冊金物(S)当て六角ﾎﾞﾙﾄ（M12）締め，ｽｸﾘｭｰ釘（ZS50）打ちにより，たすき部を補強する）Zﾏｰｸ表示金物又は同等認定品 |
| 構造耐力上必要な軸組(令46条) | 主要な梁せい：杉（120×120～240） |
| 床組：構造用合板(厚24)，小屋梁組：火打ち梁（木製），振れ止め：設置，火打ち土台：杉（45×90）ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽや土間床部分は除く |
| 筋交い（45×90ｼﾝｸﾞﾙ，ﾀﾞﾌﾞﾙ）により壁量基準に適合配置は壁量平面図による |
| 継手・仕口(令47条) | 筋交い端部：筋交いﾌﾟﾚｰﾄ（BP2等）　Zﾏｰｸ表示金物又は同等認定品 |
| 耐力壁の両側柱頭，柱脚は，N値計算による（N値計算書） |
| その他の柱頭，柱脚は，かど金物（CP-L）等　Zﾏｰｸ表示金物又は同等認定品 |
| 小屋組の接合方法（耐風性向上のための接合部仕様）平成12年告示第1460号　基準風速34ｍ/S，樹種：J3（杉）　たるき-軒桁接合：ひねり金物ST-15　たるき-もや接合：鉄丸くぎ2-N75　2本斜め打ち　小屋束-小屋梁又はもや接合：かすがいC120両面打ちZﾏｰｸ表示金物又は同等認定品 |
| 防腐措置等(令49条) | 鉄網ﾓﾙﾀﾙ下地等の防水措置：該当なし |
| 地面から１ｍの範囲の構造耐力上主要な部分に，防腐・防蟻処理 |
| 補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造（令第3章第4節の2） | 塀(令62条の8) | 塀の高さ：1200（控え壁無し）　壁の厚さ：150 |
| 材料種別：建築用ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸA種 |
| 補強筋：壁内部の縦横80cm間隔にD10配置横筋：壁頂・基礎補強筋，縦筋：壁端部，隅角部D10端部は，かぎ状に折り曲げ，交差する鉄筋にかぎ掛け |
| 防火構造(延焼のおそれのある部分) | 屋根(法22条) | 仕上：粘土瓦（防災瓦） |
| 野地板：構造用合板特類（厚12）　鉄丸くぎN38 150間隔で垂木に固定 |
| 防水紙：改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940（22kg） |
| 外壁(法23条) | 窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ（厚18）通気構造　準防火材料（認定番号○○○○） |
| 軒裏(令108条) | 繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（厚11.5）EP |
| 居室の内装 | 内装材(令20条の7) | 居室における内装材は全てＦ☆☆☆☆ |
| 居室の換気 | 換気設備(令20条の8) | 第3種機械換気設備80㎥/h × 2基（1,2階WCに設置），各居室に給気口設置，内装ﾄﾞｱにはｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄH=10又は換気ｶﾞﾗﾘ設置台所はﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞによる（換気量○○㎥/ｈ） |
| 天井裏等は全てＦ☆☆☆☆ |
| 給排水衛生設備(令129条の2の3)(令129条の2の4) | 建築設備の構造強度(昇降機以外) | 建築設備（昇降機以外）の構造方法については，建築物に設ける昇降機以外の建築設備の安全装置に関するH12建告第1388号及び同左第５改正（H24国交告第1447号）の構造方法に従い設置 |
| 給水･給湯管材料 | 引込：ｽﾃﾝﾚｽ管　敷地内：耐衝撃硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　住戸内：架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 |
| 排水管材料 | 排水枡：ｺﾝｸﾘｰﾄ製枡，硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ製枡排水管：硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ製排水管　地中埋設管：防食ﾃｰﾌﾟにて処理排水勾配：1/100以上　管径は，上下水道局の基準による |
| 水栓 | 吐水口空間を有効に確保する |
| 県条例 | 法第40条 | 県条例：第　　　　　　　　　条（図面No.　　　　に明示） |